

「清流の国ぎふ 2020地歌舞伎勢揃い公演」開幕

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

県内各地の地歌舞伎が勢揃い!

30を超える地歌舞伎保存団体が盛んに活動する「地歌舞伎大国・岐阜」。2020年1月から7月にかけて、ぎふ清流文化プラザを舞台に、県内の地歌舞伎保存団体が全11回にわたって順次、演目を披露します。

■問/県庁文化創造課 ☎058(272)8245

期間 1月19日(日)～7月19日(日)

3月までの公演情報 ※公演日、出演団体は変更となる場合があります

1月19日(日)

美濃歌舞伎保存会(瑞浪市)、
飛騨市河合町歌舞伎保存会(飛騨市)、可児歌舞伎(可児市)

2月15日(土)

白雲座歌舞伎保存会(下呂市)、佐見歌舞伎公演実行委員会(白川町)

3月8日(日)

安岐歌舞伎保存会(中津川市)、加子母歌舞伎保存会(中津川市)、
東白川村歌舞伎保存会(東白川村)、
村国座子供歌舞伎保存会(各務原市)

会場 ぎふ清流文化プラザ(岐阜市学園町3-42)

観覧無料。事前に入場整理券を配布します。入場整理券の配布や公演情報の詳細についてはチラシやウェブサイトなどで随時お知らせします。

■問/(公財)県教育文化財団プラザ事業課 ☎058(233)8164

清流文化プラザ 検索

皆さまのご来場
お待ちしております



存分にお楽しみいただける
絶好の機会です!



県地歌舞伎保存振興協議会
会長 小栗榮輝さん

各保存会にとって、地元を離れての公演はめったにありません。日々の練習の成果を最大限発揮し、観客の皆さんに喜んでいただけたらうれしいですね。この機会を得た刺激を糧に、地域に根差した地歌舞伎の本質を見失うことなく、会の活動を活発にしていきたいです。

知っておきたい地歌舞伎の楽しみ方

地歌舞伎は、江戸時代にプロの歌舞伎役者に憧れた人々が、自ら演じて楽しむようになったのが始まりといわれています。公演では役者と観客が一体となって芝居を盛り上げます。

楽しみ方

その1「おひねり」

役者が見えを切った際などに投げ込む「おひねり」(紙に包んだ小銭)は、地歌舞伎ならではの楽しい風習。



楽しみ方

その2「大向こう」

役者の名前や「待ってました」「日本ー!」など、地歌舞伎に欠かせない粋な掛け声「大向こう」。ぜひ、気軽にチャレンジしてみてください。



待ってました! 日本ー!